

✿ 単元名 「思考の幅を広げたい。その手段となる語彙や表現を豊かにするにはどうしたらいいか。」

まずは、教材で使われている漢字について「読み・書き」を知ったり、確認したりしていくといいのでは?

課題① 次の傍線のひらがなは漢字に、漢字は読みをひらがなで書こう。

『春に』

- (1) はらから声を出す。 () (2) むねを痛める。 ()
 (3) 争いのうずに巻き込まれる。 () (4) 大声で よぶ。 () ゆぶ。

『握手』

- (1) 洗濯をする。 () (2) やつかいな代物 ()
 (3) 穏やかな天気 () やかな (4) 穏健な人柄 () な
 (5) 鶏舎の掃除 () (6) 鶏のとさか
 (7) 土地の開墾 () (8) 野球部の監督
 (9) 帝国の支配者 () (10) 泥だらけ
 (11) 傲慢な態度 () な (12) 祖父の 遺言
 (13) 事件を捜査 () (14) 飼い犬を捜す
 (15) 冗談を言う () (16) 冗長 な文章
 (17) 姓名を記入 () (18) 同姓同名
 (19) もうすぐ一周忌 () (20) 忌中
 (21) 土地を 分割 () (22) 爪を切る () を切る。

課題② 次の言葉の意味を調べて書いてこう。

握手	握手	握手	握手	握手	握手	握手	握手	春に	春に	春に
平凡	いとまがい	地道	こたえる	奇妙	気前がいい	年季が入る	達者	もどかしい	せめぎあつ	よどむ
特に優れたところがなく、並みないこと。 ④ 「平凡に暮らす」									① 流れる水がどどーおってとまる。 ② 事がすうすうと進まない。 ③ ためらう。 ④ 水底に沈んでたまる。	

「よどむの意味は色々あるね。「心のダムにせき止められ」といういわいでは、既に比喩が使われているので、①の意味のようだけれど同時に②の意味もある「じつよう」で読み取れたな。あてはめないとひいて品をひいておいたつと。



課題③ 詩の中で使われている表現技法を捉えよう。

詩「春に」の中で使われている 表現技法を見つけて書き出そう。

(一) 対句になつているところを例に従つて書き出そう。

例 「沖には平家、舟を一面に並べて見物す。」
「陸には源氏、くづみを並べてこれを見る」

対句とは、「言葉を形や意味が対応するように並べる方法」のことで、それを使つてリズムや意味の面でまとまりが生まれるやうな、「春」の中で使われている箇所は一ヵ所じゃないわね。



(2) 次の二人の会話を読んで、(A) それぞれの空欄にあてはまる言葉を書きなさい。「□」の□は字数を表す。

【松本さん】「中学校一年生で『さまざまな表現技法』を勉強したいことを思って、いたんだよ。」

【川上さん】「表現技法って、『対句』とかのことだよね。」

【松本さん】「えうだよ。他にも……」

I キラキラとした印象やしみじみとした余韻を残すために、文末や句末を体言(名詞)で結ぶ方法〔□□□□□〕

II 普通の言い方と言葉の順序を入れ替えて、歯切れのよいリズムや情景や心情を強調する 〔□□〕

III 同じ言葉を繰り返してリズムを生み出したり、描かれている心情や情景を強調する 〔□□〕

IV 表したい情景や心情を言い切らず、文章や言葉を途中で止めて、後を省略する方法 〔□□〕

△ 物事を、他のものにたとえて表現することを「比喩」と言つ。比喩には主に三つの方法がある。

・「まるで……」「あたかも……」「……ようだ」などの言葉を使ってたとえる方法 〔□□〕

・「まるで」「ようだ」などの言葉を使わずにたとえる方法 〔□□〕

・人間でないものを人間にたとえて表す方法。自然現象や物体などを人間の行動や気持ちになぞらえるので生き生きとした印象を与える。 〔□□□〕

春に 谷川俊太郎

この気もちはなんだろう
目に見えないエネルギーの流れが
大地からあしのうらを伝わって
ぼくの腹へ胸へそうしてのどへ
声にならないさけびとなつてこみあげる

この気もちはなんだろう
枝の先のふくらんだ新芽が心をつつく
よろこびだ しかしながらしみでもある
いらだちだ しかもやすらぎがある

あこがれだ そしていかりがかくれていて
心のダムにせきどめられ
よどみ渦まきせめぎあい
いまあふれようとする

この気もちはなんだろう
あの空のあの青に手をひたしたい
まだ会つたことのないすべての人と
会つてみたい話してみたい

あしたとあさつてが一度にくるとい
ぼくはもどかしい
地平線のかなたへと歩きつづけたい
そのくせこの草の上でじつとしていたい
大声でだれかを呼びたい
そのくせひとりで黙つていたい
この気もちはなんだろう

自己評価をしましょう



この自己評価は皆さん自身が自分の学びを振り返るためのもの・皆さんの理解度や疑問を知るための、先生の評価とは関係ありません。

課題① 教材に登場している 漢字の読み書きが理解できたか。

十分に まずまず 自信がないが できなかった。
できた。満足。 できた。 なんとかできた。

なにかあれば

【一言コメント

】

課題② 教材に登場する言葉の意味を調べ、確認することができたか。

十分に まずまず 自信がないが できなかった。
できた。満足。 できた。 なんとかできた。

なにかあれば

【一言コメント

】

課題③ 詩の中で使われている表現技法についての知識を 確認できたか。

十分に まずまず 自信がないが できなかった。
できた。満足。 できた。 なんとかできた。

なにかあれば

【一言コメント

】

学習を終えて、分からぬこと、疑問に思うことがあれば書き出しておこう。